

車の代わりに公共交通を
運転免許返納のススメ

四日市西警察署や最寄りの交番、駐在所で運転免許証を返納できます。西署管内では、年間約300件ほどが返納されています。運転に自信がなくなった方や家族が不安に感じられた方は運転免許証の返納をお勧めします。



四日市西警察署
交通課 交通係
まつもとりな
松本梨奈さん

安全安心な公共交通を維持

新

新型コロナウイルス感染症の影響で、町内公共交通機関の利用者は減少しています。令和2年5月、6月の利用者が例年の2割程度となった公共交通機関もあり、運営面で苦しい状況を強いられています。こ



▲バス車内を消毒する三重交通㈱の従業員

のような状況を受け、菰野町地域公共交通会議は、町内小中高校生の通学や高齢者等の通院などのために地域の移動手段となり、公共交通を支える交通事業者の事業継続を図ることを目的として、令和2年8月、「菰野町の地域公共交通崩壊を食い止めるための緊急アピール」を発表しました。

交通事業者においても、三密を防ぐための対応や運行後の車内消毒作業など感染症対策を徹底しており、安全安心な地域の移動手段として変わらない運行を行っています。住民の皆さんも公共交通の大切さをご理解いただき、感染防止に留意した上で、できる限り積極的な鉄道、バス、タクシーの利用をお願いします。

これからも私たちが支える生活線

ライフライン

もしも公共交通がなかったら

自

分たちが暮らす地域から、もしも公共交通がなくなってしまうと、普段の生活はどのようなようになるでしょうか。学校にも行けない。買い物にも行けない。病院にも行けない。現在過ごしている生活が大きく変わってしまう方がたくさんいると思います。

公共交通が一日にして突如なくなってしまう事例が実際にありました。それは、災害が起きた時。今年、九州地方で起こった豪雨災害では、線路や道路が氾濫した河川によって流され、鉄道やバスといった公共交通機関が使えなくなりました。過去の災害では、通勤や通学のために公共交通機関で通っていた方々が自家用車で移動したことにより、大規模な渋滞が起こり、大きな問題となりました。菰野町や近隣自治体でも、このように公共交通機関がなくなってしまうと同じような問題が発生することが予想されます。

このようにならないためにもガス、電気、水道と同様に生活に必要な不可欠な公共交通。ライフラインのひとつとして利用実態や利用者数な

どを勘案しながら、維持していく必要があります。これからも、菰野町では、地域の移動手段を守るため、交通事業者や地域の皆さんと一丸となって、さらに使いやすく、さらに快適な移動が実現できるよう、公共交通の整備を進めていく予定です。

公共交通——。住民の皆さんの誰もが利用する可能性があり、生活の中でなくてはならないもの。これからの皆さんの生活の中にも、公共交通の路線はきつとつながっているはずですよ。

Life Line
みんなの生活線

ある日の夕方、近鉄湯の山線の菰野駅で待機するコミュニティバスと尾高タクシー。電車が到着すると、降りてきた乗客を乗せて走り出していきました。